

令和3年度 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年12月

事業所名：児童発達支援事業所な一ちゃ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室などのスペースとの関係で適切であるか。	5	2	空間を仕切って活動を行い、活動スペースを作っている。	子どもさんの増加に伴い、環境設定への配慮や活動の工夫などの必要性がでてきている。活動内容によっては、地域の体育館や交流センターを利用するなど、対応を行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか。	7	0	基準以上は配置	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備などは、バリアフリー化や情報伝達などへの配慮が適切になされているか。	5	2	一日の流れなど視覚提示を行い、大きな段差の軽減のため、踏み台の設置等を行っている。	視覚障害のある子どもさんの利用もあり、段差や角などへの配慮・工夫の必要性がある。今後も危険個所などの洗い出しと対応を心がけていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	定期的な換気や消毒、日々の清掃など、感染症予防対策を継続して実施している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎回、ミーティングと記録を残すようにしている。職員が話しやすい環境設定を心がけている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	7	0	評価アンケートとは別に、独自のアンケートをご家族に行い、今後の業務改善に繋げるようにしている。	コロナ禍で実施できなかった事項やご家族からの要望などに応えられるように、来年度の計画を検討していく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	7	0	事業所の評価とともに掲載している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		今後、検討を行っていく。
適切な支援の提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	7	0	月に一度、職員研修を設け、外部研修も可能であれば参加している。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもや保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	独自のアセスメントツールや外部講師による発達検査等を踏まえ、子どもさんやご家族に寄り添った支援計画の作成を心がけている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	7	0	独自のアセスメントツールや外部講師による発達検査等を使用している。	発達の状況の書式など、分かりやすい内容にしていく。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	アセスメントや定期的なモニタリングを行い、子どもさんやご家族のニーズに沿った支援内容の設定を心がけている。	

適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	7	0	支援計画の内容を職員で周知した上で支援を行うようにしている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	月に一度、活動プログラムについて話し合いを設けている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	季節行事を取り入れたり、子どもさんの状況に応じたりして活動内容の変更を行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	計画に沿って活動を組み立てている。	子どもさんの増加に伴い、集団活動が多くなりがちであるため、子どもさん一人一人の状況に応じて、計画の作成と活動の工夫を行っている。
	⑰	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	7	0	朝礼にて、その日の流れ、活動内容、役割分担を確認している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	7	0	終礼にて、振り返りを行い、子どもさんの状況確認や活動の反省を行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	ケース記録を個別で作成し、職員で周知できるようにしている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	7	0	面談を実施し、モニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者を中心に、必要に応じて職員も参加している。	
	㉒	母子保健や子ども、子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	7	0	連絡会や親子教室への参加し、情報共有など、連携を行っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。				
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	ご家族に同意を得た上で、見学の実施や支援計画の内容の情報共有を行うなど、連携に努めている。	コロナウイルス感染症の影響もあり、連携がとりにくい環境にあるが、送迎時や電話連絡など、今後も行き、連携を深められるようにしていく。
	㉖	移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	就学を控えた子どもさんを対象に学校見学に同行し、情報共有を行った。	コロナ禍の影響を配慮しつつ、事業所主体の学校見学会の検討を行っている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	7	0	自立支援協議会子ども部会への参加や他事業支所の見学受け入れを行った。	今後も積極的に関係機関との連携を深めていく。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか。	0	7	コロナ禍であるため、自粛。	コロナウイルス感染症の影響もあり、交流の機会を設けづらい環境にある。今後、交流の場を設けていきたい。

関係機関や保護者との連携	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て支援会議等へ積極的に参加しているか。	7	0	定期的な部会に参加するようにしている。	継続して参加を行っていく。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について、共通理解を持っているか。	7	0	必要に応じて、電話連絡や面談を実施している。	今年度、SNSの使用を承諾をいただき、実施したことで、ご家族と情報を共有しやすい環境を整えた。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)の支援を行っているか。	0	7	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)は未実施。	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)の実施には至っていない。研修会の参加は行ったため、今後、支援実施を目指していく。
保護者への説明責任等	③2	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時、説明するようにしている。また玄関横に掲示し、閲覧できるようにしている。	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者からの児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	説明を行い、同意を得るようにしている。	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7	0	感染症の落ち着いた時期を見計らって面談の実施を行った。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	2	5	コロナ禍であったため、保護者会などの交流会を自粛。	今後はアンケートの実施や資料提供、オンラインでの交流会の検討など、コロナ禍でも可能な保護者連携を模索していく。
	③6	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	日程調整などを行い、申し入れがあった日に対応できるようにしている。	相談への適切な対応ができるように、他の関係機関との連携に今後も努めていく。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	月に1回、お便りを配布し、活動の様子も掲載している。行事の内容等をプリント配布し、説明・参加の有無を聞き取っている。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	7	0	同意書により、承諾を得るとともに、随時、ご家族への連絡を行うようにしている。	
	③9	通所児や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	毎回の連絡帳の記載と、必要に応じて電話連絡を心がけている。	今年度、SNSの使用を承諾をいただき、実施したことで、ご家族と情報を共有しやすい環境を整えた。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	公民館への加入。散歩時の挨拶や、芋ほり体験などの機会があった。	コロナウイルス感染症の影響もあり、事業所行事は計画できていない。今後、季節行事への参加や交流を検討していく。
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各種マニュアルを玄関横の本棚に置き、いつでも閲覧できるようにしている。

非常時等の対応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的な避難訓練を実施している。	非常災害についての避難方法など、今後も消防や行政をはじめとする関係機関と連携を図り、対応できるようにしていく。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	契約の際、状況の確認を行うようにしている。また変更があった際はその都度、報告をお願いしている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		現状、食物アレルギーのある子どもさんの通所はないが、指示書の依頼を行っていく。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	7	0	ヒヤリハットについて、打ち合わせや振り返り時に共有するようにしている。	同様のヒヤリハット事例が行われないように、検討や見直しを行っていく。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	事業所内で研修の機会を設けている。	今後、施設外研修への参加を行い、職員周知ができるようにしていく。
	④⑦	どのような場合に、やむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか。	0	7		現状、対象の子どもさんがいないため、計画書に記載することはない。しかし、対象の子どもさんの通所があった際は適切な対応を行っていく。
<p><その他：気になること、改善すべき点など></p> <p>・子どもさんの利用増加により、環境設定や工夫の必要性が大きくなってきている。今後も経営状況を見て、ハード面の強化を検討していく。また支援についても支援者同士の連携を強化し、活動場所や内容、支援計画との連動性などの多くの課題について、適宜、検討を重ねていく。</p>						